



ブロックチェーン技術を現実の世界へ

Phoreの特徴



高速な送金/ブロック時間1分



匿名/非匿名切り替え可能な送金



ステーク/マスターノードによる報酬



手数料無料なマーケットプレイス



匿名性を保つスマートコントラクト（Q4予定）

Phore Blockchain のビジョン



“現実で使うことのできる通貨を目指す”
が最大の目標です。

ショップも個人も自由に商品を売買できるメルカリと楽天を合わせたようなアプリを開発しています。

クラウドファンディングを可能にし、Phoreをより使い道の豊富な通貨にしていくというのが、私たちの考えです。

ステーキング



Phoreでは、所有するコインでマイニングできます(PoS)。

このマイニングは、ブロックチェーンの耐性を高め、送金を安全に保つものです。

常にウォレットを実行していなければステーキングが出来ませんので、ご注意ください。

マスターノード



Phore のマスターノードは10000PHRを保持し、次の条件を満たすサーバーで設置することが出来ます。

- ・ 静的なIPアドレスを持つ
- ・ 10000PHRを担保として保管
- ・ 24時間稼働するサーバーを持つ

マスターノードにより、ブロックチェーンに匿名性や後にスマートコントラクト機能を導入することが出来ます。

スクリプトにより、だれでも簡単にマスターノードを立てることが可能です。

Zerocoin プロトコル

Zerocoinプロトコルとは、匿名性技術の一つです。

マスターノードに送金し、シャッフルすることによって送金元や送金額を匿名化できます。

この匿名性はPhoreのエコシステムの各要素でも利用可能になっています。

例

- ・マーケットプレイスで匿名送金で支払う
- ・匿名送金で支払ってスマートコントラクトを利用する

マーケットプレイス

<http://phore.io/marketplace/> からアプリをダウンロード、実行しなければいけません。



メリット

- ・手数料が無料
- ・ショップも・個人も簡単に出品できる
- ・匿名送金を利用できる

デメリット

- ・運営が仲裁を行いますが、出品者の評価をよく確認しなければならない

スマートコントラクト(Q4予定)



現在のブロックチェーンとは別のチェーンとして、スマートコントラクトが利用できるチェーンを作成します。

その二つのチェーンを相互に行き来できるように、マスターノードにPHRを送金したときにもう一つのチェーンで同額のPHRがアンロックされる仕組みにすることで、二つのチェーンを行き来し、(RSK)スマートコントラクトを実装することが出来ます。

匿名性を残したままスマートコントラクトが実装できるので、プライベートスマートコントラクトと呼びます。